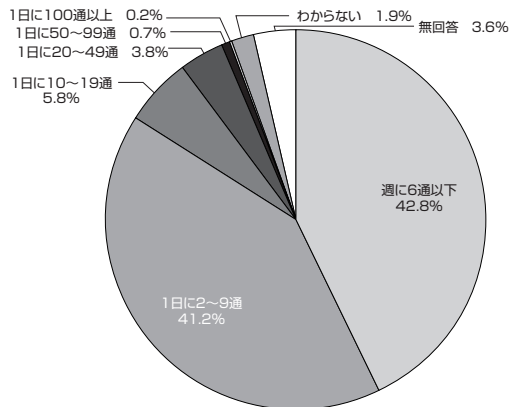


## 第3章 パソコン利用者

### メール

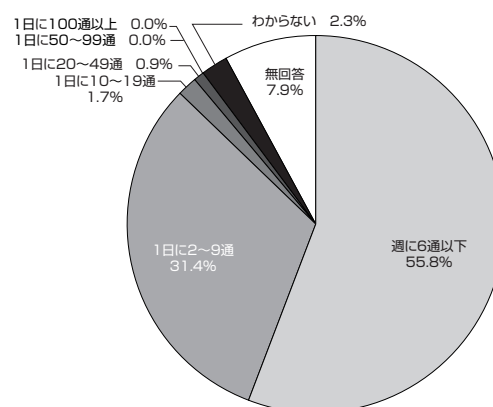
### 企業からのメールを週に1通は受信

資料1-3-14 1日当たりの平均受信メール数 N=1,512



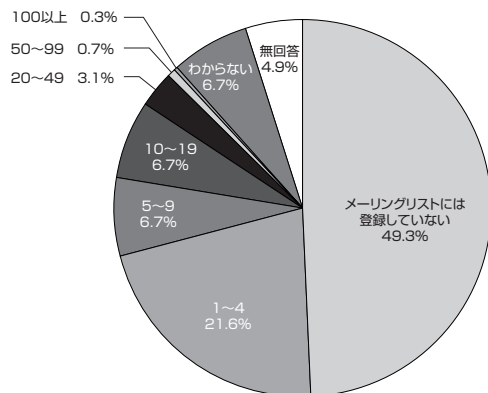
インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料1-3-15 1日当たりの平均送信メール数 N=1,512



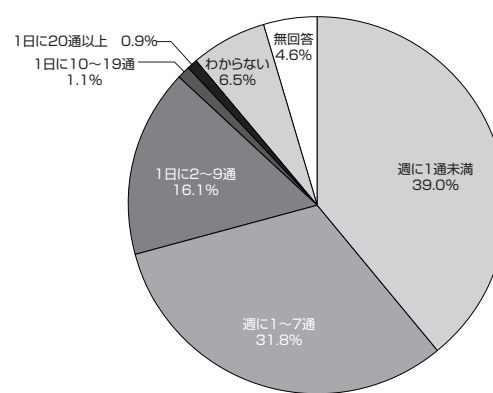
インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料1-3-16 登録しているメーリングリスト数 N=1,512



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料1-3-17 了解の有無にかかわらず送られてくる企業や商品/サービス情報のメール、DM受信数 N=1,512



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

## 解説

### ■メール

電子メールの利用状況をみると、受信メール数は「週に6通以下」と「1日に2~9通」がそれぞれ4割を超え、全体の8割以上を占める。送信メール数も「週に6通以下」が55.8%、「1日に2~9通」が31.4%となっている。

1人当たりの所有メールアカウント数の平均は2.6となっているが、普段利用している平均メールアカウント数は1.7と、多くの利用者が主に利用するメールアカウントを管理しやすい数に絞っている。これらの傾向はほぼ昨年と同様であるが、

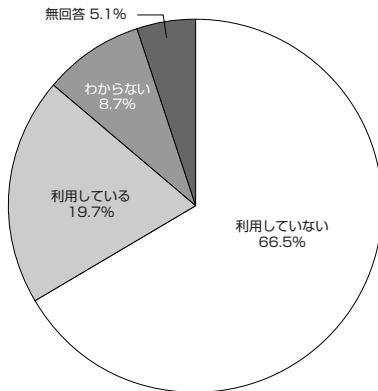
平均所有メールアカウント数は0.1、普段利用する平均メールアカウント数も0.1増えており、メールの利用がますます活発になっている。

企業・産業情報や趣味に関する情報など、登録会員向けに電子メールで情報を配信するサービスはすでに一般的なものとなり、最近ではプライバシーに絡むさまざまな問題も発生しつつある。昨年同様、無料の情報配信サービスについてはすでに3割以上が利用しているが、有料配信サービスの利用率となるといまだに3.2%と非常に低い（資料1-3-10 P.66）。

また、今回の調査では、新たに登録メーリングリスト数や電子メールによるDMの受信状況もグラフ化している。電子メール利用者の約4割がすでに何らかのメーリングリストに登録しており、こうした中で利用者の了解の有無にかかわらず送付されてくる企業や商品/サービス情報の電子メール数は、少なくとも電子メール利用者の約半数に週に1通以上送られてきていることがわかる。

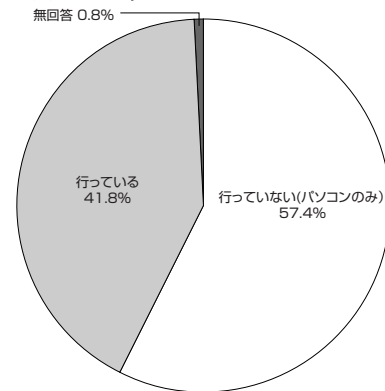
昨年に引き続き、ヤフーメール、ホットメールに代表される、ウェブ上からメールの送受信ができるフリーメールやウェブ

資料 1-3-18 フリーメールやウェブメールの利用有無 N=1,512



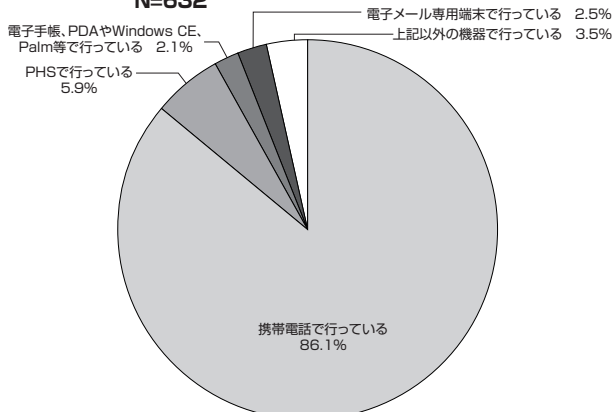
インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-19 パソコン以外の機器によるインターネットメールの送受信有無 N=1,512



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-20 パソコン以外のインターネットメールの送受信機器 N=632



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

## 解説

メールといわれるサービスの利用に関しても聞いた。これらのサービスではメール管理や添付ファイルの保存もでき、多くのポータルサイトで無料サービスとして定着してきている。

現在これらのサービスの利用率は19.7%と昨年の17.8%から微増している。ゆっくりとではあるが、パソコンインターネット利用者の中でウェブブラウザさえあればどこからでも利用できるという手軽さや機能に対する理解が進んできたといえる。今後はパソコン以外の機器でのサービス利用が期待される。

今回はパソコン以外の機器によるインターネットメールの送受信についても聞いている。主に自宅からのパソコンによるインターネット利用者に対して聞いているにもかかわらず、全体の約4割が「行っている」と答えているのは注目に値する。その送受信機器で最も多いのは、「携帯電話で行っている」(86.1%)、ついで「PHSで行っている」(5.9%)、「電子メール専用端末で行っている」(2.5%)、「電子手帳、PDAやWindows CE、Palm等で行っている」(2.1%)となっている。

これを性別年代別で見ると、「携帯電話」や「PHS」、「電子メール専用端末」は女性で、「電子手帳、PDAやWindows CE、Palm等」は男性で比率が高い。また、「携帯電話」は10代、20代で、「PHS」は20代、30代で、「電子メール専用端末」は40代、50代で、「電子手帳、PDAやWindows CE、Palm等」は50代以上で相対的に高い傾向がみられる。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)